

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年7月21日)

- 1 若桜鉄道株式会社定時株主総会の開催等について 【交通政策課】・・・1ページ
- 2 チーム鳥取！アスリート候補生2期生募集等について 【スポーツ課】・・・2ページ
- 3 ジャマイカ陸上競技チーム世界陸上北京大会鳥取キャンプの概要について 【スポーツ課】・・・3ページ

地 域 振 興 部



若桜鉄道株式会社定時株主総会の開催等について

平成27年7月21日
交通政策課

若桜鉄道株式会社の第28期定時株主総会が6月26日に開催され、平成26年度事業報告等が次のとおり承認されました。

1 列車利用状況

- ・「若桜谷観光号」などのイベント列車の増加や利用促進により、普通旅客及び通勤旅客は増加した。
- ・通学旅客に関しては、平成26年4月の消費税増税に伴い、平成26年3月の駆込需要の発生により、平成25年度旅客数に算入されたことにより減少した。

〈列車利用状況〉

区分	H26年度(人)	H25年度(人)	差引増減(人)	前年度比(%)
普通旅客	103,178	98,501	4,677	105
通勤旅客	51,660	48,848	2,812	106
通学旅客	191,820	268,414	△76,594	71
全乗車人員	346,658	415,763	△69,105	83

2 主な利用促進の取組

観光客誘致のほか、沿線自治体と連携した地元住民の利用促進の取組を実施した。

- ・鳥取大丸、シャミネ鳥取、鳥取駅前の喫茶店と連携し、沿線住民が若桜線を利用してお買い物などを楽しめる「お買い物列車」「カフェ&スイーツ列車」の運行
- ・ボランティア乗務員による観光ガイドが実施される「若桜谷観光号」の定期運行（土日祝日運行）
- ・旅行業者による団体ツアーの受入れ
- ・SLや気動車の運転体験、SL走行見学会の実施やトロッコ列車の構内運行

3 収支状況

- ・営業損益については、通学旅客の減により旅客収入が対前年比91%となったこと、若桜町・八頭町からの線路等管理委託に係る受託費の減等により37,957千円の赤字となった。
- ・営業外損益については、売店収入などは増加したが、体験運転の減などによる収益の減少、販売促進費（新聞広告等）の増などによる費用の増加により前年比69%の6,426千円の黒字となった。
- ・また、平成25年度以前の決算処理の適正化（在庫品の取扱い等）を図ったことにより、過年度損益修正による特別損失を計上したことなどから、当期損益は33,431千円の赤字となり、損益処理として48,177千円を次期繰越損金とした。

〈収支状況〉

区分	H26年度 (千円)	H25年度 (千円)	差引増減 (千円)	前年度比 (%)	主な要因
営業収益①	172,633	201,877	△29,244	86%	運輸収入、受託費の減
営業費用②	210,590	227,695	△17,105	92%	修繕費の減
営業損益③(①-②)	△37,957	△25,818	△12,139	—	
営業外収益④	13,581	14,376	△795	94%	体験運転の減
営業外費用⑤	7,155	5,113	2,042	140%	販売促進費の増
営業外損益⑥(④-⑤)	6,426	9,264	△2,838	69%	
経常損益⑦(③+⑥)	△31,531	△16,554	△14,977	—	
特別損益⑧	△1,847	5,826	△7,673	—	
法人税⑨	53	65	△12	82%	
当期損益⑩(⑦+⑧-⑨)	△33,431	△10,793	△22,638	—	
前年度繰越損金⑪	△14,746	△3,953	△10,793	—	
繰越利益剰余金⑫(⑩+⑪)	△48,177	△14,746	△33,431	—	

4 その他

7月8日に「若桜鉄道SL走行社会実験沿線サポート委員会」が開催され、4月11日に実施された若桜鉄道SL走行社会実験の経済波及効果は1,805万円であったと発表されました。

※内訳：宿泊関連716万円、食事関連330万円、土産等購入449万円、その他310万円

チーム鳥取！アスリート候補生2期生募集等について

平成27年7月21日
スポーツ課

昨年度から実施している「チーム鳥取！発掘・育成事業」について、2期生の募集内容等が決定しましたので報告いたします。

1 事業概要

- (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック等の国際大会で活躍できる「鳥取育ち」のトップアスリート候補生を発掘し、育成していくプロジェクト
- (2) 1年目(H26)は34名の候補生を選抜するとともに、育成プログラムを作成した。
2年目となる本年度(H27)は1期生にトップアスリートになる上で必要な運動能力や知識の習得と各競技の体験プログラムを提供し、加えて2期生の募集を行う。
- (3) 競技団体や国の機関と連携しながらより良い指導を行い、県内のジュニアアスリートの憧れや目標となる人材の育成を目指す。
- (4) 学識経験者(大学准教授、管理栄養士、アスレチックトレーナー)、競技団体関係者(8名)の計11名をメンバーとする検討委員会において事業の運営方針を決定していく。

(チーム鳥取！アスリート候補生1期生)

地区	小学生	中学生	合計
東部	11	7	18
中部	2	0	2
西部	10	3	13
合計	23	10	33

※ 選抜後に1名が県外へ転居したため、33名が活動中

2 2期生の募集内容

項目	2期生	1期生
(1) 対象者	小学4・5年生	小学5・6年生及び中学1年生
(2) 募集期間	9月中旬～10月中旬	7月18日～9月15日
(3) 選抜人数	30人程度	
(4) 対象競技	セーリング、カヌー、ボート、自転車、レスリング、ライフル射撃、ホッケー、アーチェリー 計8競技	
(5) 選抜方法	1次選考(書類選考:学校で実施する新体力テスト結果を自己申告) 2次選考(本プロジェクト独自の体力検査、心理検査)	

[対象者の変更理由]

- ・1期生は中学1年生も対象としたが、学校部活動との日程調整等が難しく、練習会等に参加できていない状況がある。
- ・小学校卒業時まで専門競技を決定できれば、事業実施にあたり中学校部活動の影響が少ない。
- ・小学3年生以下では、体格、体力的に競技用品等の操作が困難で、十分な競技体験を行わせることができない。

3 1期生の競技決定までのスケジュール

- (1) 競技体験会(～12月5日 最終)
- (2) 第1回競技説明・相談会(11月23日)
- (3) 第2回競技説明・相談会(12月13日)
- (4) 競技決定最終意向調査(2月)
- (5) 競技決定(3月)

ジャマイカ陸上競技チーム世界陸上北京大会鳥取キャンプの概要について

平成27年7月21日
スポーツ課

1 概要

- ・期 日 8月8日(土)から18日(火)までの11日間
うち練習は、9日(日)から17日(月)午前まで
- ・場 所 コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場(鳥取市布勢)
- ・人 数 選手団(選手51名、役員・コーチ等19名)計70名(予定)

2 主な来県予定者

(チームリーダー)

- ・ラドロー・ワッツ(LUDLOW WATTS)氏
※2007年の世界陸上大阪大会の事前キャンプでも来県し、昨年12月にも、競技場等視察で来県。

(選手)

- ・ウサイン・ボルト(USAIN BOLT)
- ・アサファ・パウエル(ASafa POWELL)、
- ・フレイザープライス(SHELLY-ANN FRASER-PRYCE)。

3 期間中の関連行事

- | | | |
|---------------|---------------|---------|
| 1) 公開練習、サイン会 | 11日(火)、15日(土) | 布勢陸上競技場 |
| 2) 中高生陸上教室 | 16日(日) | 布勢陸上競技場 |
| 3) 保育園、福祉施設訪問 | 12日(水) | 市内保育園 等 |
| 4) 世界陸上壮行会 | 16日(日) | (調整中) |

4 企業協賛

(株)不二家システムセンターより、鳥取県東京オリ・パラキャンプ誘致推進委員会(会長:平井知事)に対して、協賛金50万円を贈呈いただきました。

【贈呈式】

- ・日 時 7月9日(木)午後3時40分～
- ・場 所 県庁第4応接室
- ・参加者 不二家システムセンター 河田社長、砂川常務、樋口鳥取事業所長
- ・内 容 河田社長から知事へ目録贈呈、知事から河田社長へ感謝状贈呈 等



